

「アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」

場所 九州大学応用力学研究所 W601 多目的研究交流室

日時 平成27年12月3日 13:30-18:00、4日9:00-12:15

プログラム（発表は質疑込みで1件30分の予定）

13:30 - 13:40 研究集会趣旨説明 森野悠、鵜野伊津志

13:40 - 15:40

森野悠(国立環境研): 有機エアロゾルの揮発特性と発生源推計のモデリング

櫻井 達也(明星大学): 夏季のPM2.5中硫酸イオン濃度に対する発生源感度解析

桐山 悠祐(日本エヌ・ユー・エス): 関東地方におけるNO_x,VOC排出削減のオゾン濃度への影響

小松宏昭(神奈川県)、浦西克維(奈良県): 第II型共同研究と自治体の化学輸送モデル利用について~2013年自治体PM2.5観測データによるCMAQ再現性確認と課題

15:40-16:00 休憩

16:00-18:00

猪股弥生(ACAP)、梶野瑞王、黒川純一、佐藤啓市、大原利真、植田洋匡: 領域モデルによる多環芳香族炭化水素の越境輸送解析（講演時間は少し短め）

鵜野伊津志(九州大学): 黄砂に伴う硝酸塩の越境輸送の解析

板橋秀一(電力中央研究所): 化学輸送モデルを用いたアジア域の窒素化合物の沈着量推計

Wang Zhe (王哲) (中国大気物理研究所): Development of nested NAPQMS model and its application to heavy air pollution and dust occurred in March-April, 2015 in Beijing.

18:30 懇親会

12月4日

9:00 - 10:30

大原利真(国立環境研): 日中韓の大気モデリングと排出インベントリの最近の状況

茶谷聡(国立環境研): 国内の二次汚染物質の対策検討に向けたモデル相互比較
と排出インベントリ構築について

森川 多津子(日本自動車研究所): 国内の排出インベントリの改善と大気質モデル
の結果

10:45 - 12:15

菅田 誠治(国立環境研): $PM_{2.5}$ 注意喚起判断へのVENUS計算結果利用について

速水 洋(電力中央研究所): モデル検証のための観測データ取得

弓本 桂也(気象研究所): 気象研化学輸送モデリンググループの活動-領域化学
輸送モデルの開発とひまわり8号を用いたデータ同化